

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公表番号】特表2016-503197(P2016-503197A)

【公表日】平成28年2月1日(2016.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-007

【出願番号】特願2015-553889(P2015-553889)

【国際特許分類】

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 10 H 3/18 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/00 Z

G 10 H 3/18

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記楽器の本体内に位置決めされるピックアップであって、前記楽器によって生成された振動信号を受信し、前記振動信号を、前記振動信号を表す電気信号に変換するように構成されるピックアップと、

前記楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記楽器の本体内に位置決めされ、前記ピックアップと連結されるエンコーダであって、前記楽器からの音楽制御データの送信前に、前記ピックアップによって受信された前記電気信号を音楽制御メッセージデータに符号化するエンコーダと、

前記楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記楽器の本体内に位置決めされ、前記エンコーダに連結される第1の無線トランシーバであって、前記音楽制御メッセージデータを、前記楽器の本体内に部分的に位置決めされないまたは前記楽器の本体内に位置決めされない第2の無線トランシーバに無線送信するように構成されている第1の無線トランシーバと、

を備え、

前記音楽制御メッセージデータに基づいてメディア信号を作り出すことが可能である、楽器。

【請求項2】

前記音楽制御メッセージデータが、Music Instrument Digital Interface (MIDI) 形式に従う、請求項1に記載の楽器。

【請求項3】

プロセッサが、前記電気信号をMIDIデータに符号化するためのMIDIパラメータを編集するためである、請求項1に記載の楽器。

【請求項4】

前記楽器によって作り出された音を検出し、前記音を、前記エンコーダによって符号化された電気信号に変換するピックアップデバイスを備える、請求項1に記載の楽器。

【請求項5】

前記メディア信号が、音声信号、映像信号、または照明効果のための信号を含む、請求

項 1 に記載の楽器。

【請求項 6】

前記第 2 の無線トランシーバが、MIDI パラメータを前記第 1 の無線トランシーバに送信するためである、請求項 1 に記載の楽器。

【請求項 7】

前記エンコーダが、前記電気信号を前記音楽制御メッセージデータに符号化するためのパラメータを記憶するメモリを含む、請求項 1 に記載の楽器。

【請求項 8】

前記エンコーダが、MIDI パラメータを選択する制御装置を含む、請求項 1 に記載の楽器。

【請求項 9】

プロセッサが、MIDI パラメータを制御または編集するためのシンセサイザーとフットスイッチとを備えるストンプボックスの中に包含される、請求項 1 に記載の楽器。

【請求項 10】

振動信号を楽器によって生成することと、

前記楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記楽器の本体内に位置決めされるピックアップによって、前記振動信号を、前記振動信号を表す電気信号に変換することと、

前記楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記楽器の本体内に位置決めされ、前記ピックアップと連結されるエンコーダによって、前記楽器からの音楽制御データの送信前に、前記電気信号を音楽制御メッセージデータに符号化することと、

前記楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記楽器の本体内に位置決めされ、前記エンコーダに連結される第 1 の無線トランシーバによって、前記音楽制御メッセージデータを前記エンコーダから、前記楽器の本体内に部分的に位置決めされないまたは前記楽器の本体内に位置決めされない第 2 の無線トランシーバに無線送信することと、

前記音楽制御メッセージデータを前記エンコーダから受信機に無線送信することと、を備え、

前記送信された音楽制御メッセージデータに基づいてメディア信号を作り出す、方法。

【請求項 11】

前記音楽制御メッセージデータがMIDI データ形式に従う、請求項 10 に記載の方法。

。

【請求項 12】

プロセッサによって、前記電気信号をMIDI データに符号化するためのMIDI パラメータを編集することを備える、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

電気信号をギターによって生成することであって、前記ギターの各弦が別々の電気信号を生成することを備える、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

前記ピックアップによって、前記楽器によって作り出された音を検出し、前記音を電気信号に変換することを備える、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 15】

前記エンコーダに連結されたメモリ内に、前記電気信号をMIDI データに符号化するための、1つまたは複数のセットのMIDI パラメータを記憶することを備える、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 16】

前記楽器がエレキギターである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 17】

ピックアップに連結されたMIDI エンコーダであって、前記MIDI エンコーダ及び前記ピックアップが、電気楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記電気楽器の

本体内に位置決めされ、前記ピックアップが、前記電気楽器によって生成される振動信号を電気信号に変換するように構成され、前記MIDIエンコーダが、前記電気楽器からのMIDIデータの送信前に、前記電気信号を前記MIDIデータに符号化するように構成される、MIDIエンコーダと、

前記電気楽器の本体内に部分的に位置決めされるまたは前記電気楽器の本体内に位置決めされ、前記MIDIエンコーダと連結された第1の無線トランシーバであって、前記MIDIエンコーダから前記MIDIデータを受信し、前記電気楽器の本体内に部分的に位置決めされないまたは前記電気楽器の本体内に位置決めされない第2の無線トランシーバに前記MIDIデータを無線送信する、第1の無線トランシーバと、

を備え、

前記第2の無線トランシーバは、MIDIパラメータを前記第1の無線トランシーバに送信するように構成される、

システム。

【請求項18】

前記第2の無線トランシーバが、プロセッサとメモリとを備え、受信された前記MIDIデータに関連するMIDIパラメータの可視化したものを表示するように構成されたコンピューティングシステムに連結されている、請求項17に記載のシステム。

【請求項19】

前記コンピューティングシステムが前記MIDIデータをメディア信号に合成するように構成されている、請求項18に記載のシステム。

【請求項20】

前記コンピューティングシステムが前記MIDIパラメータの編集を可能にするように構成されている、請求項18に記載のシステム。